

## 平成28年度 第1回

### 三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進本部会議概要

1 開催日時：平成28年6月2日（木） 9:20～9:30

2 開催場所：プレゼンテーションルーム

3 議事概要：以下のとおり

（●事務局説明・回答、☆意見・質問）

#### 議題1「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略・検証レポート」（案）について

##### ●安井企画課長（資料1及び資料2に基づき説明）

事項書の裏面にある今後のスケジュールについて、総合戦略の検証結果は、6月7日の三重県地方創生会議・検証部会で議論いただく。その後、それを踏まえて、6月13日に三重県地方創生会議を開催し、その後の取組を含めて議論いただき、6月20日の戦略企画雇用経済常任委員会で説明する。その結果を踏まえて、成果レポートと同時期に公表する。

資料1の検証レポートについては、大きく自然減対策と社会減対策に分けて検証しており、自然減対策については、進展度をB、ある程度進んだと判断している。この判断基準については、行動計画の成果レポートの判断基準に基づいて判断している。考え方としては、数値目標1の実績値が1.51となった。この目標についてはスマイルプランの目標に合わせて10年後の目標を設定しており、31年度の目標値は設定していない。27年度の目標値も設定していないが、昨年度に比べて0.06上昇している。数値目標2は、目標値58.0%に対して実績値が53.4%で達成状況は0.92である。3ページ以降にKPIの達成状況一覧があり、20項目のうち14項目が達成したので、総合的に判断してBと記載した。検証レポートについては、6ページにKPIや基本目標の達成状況を文章で記載し、8ページ以降は成果レポートのデータを活用して、平成27年度の取組概要と成果、残された課題をKPIを関連するものを中心に記載している。

16ページからの社会減対策については、進展度をC、あまり進まなかったと判断している。基本目標である転出超過数の目標値2,720人に対して4,218人とかなり厳しい状況になった。一方、KPIについては、19指標のうち11指標を達成したということであったが、最終的にCと判断した。20ページに検証結果（総括）を、21ページ以降は成果レポートのデータを記載している。

資料2について、地方創生先行型交付金の効果検証ということで、交付金についてはKPIを設定しており、外部有識者により検証を行い、国に報告する

ということとされており、今回、一覧表と総括としてまとめて、報告する。  
資料3として、三重県地方創生会・検証部会の委員名簿を付けている。

(質疑なし)

☆知事

今年度、地方創生の本格展開を図るが、検証結果を踏まえて平成28年度の取組に生かしていく。自然減対策は、合計特殊出生率が1.51と上昇したが、10年後の目標である1.8には向けて、取組を加速させていかなければならないし、社会減対策については、転出超過数が大きく、厳しい状況が続いているので、若者の県内定着の促進や働く場の充実をはじめ、取組を強化していく必要がある。よろしく願いしたい。